



上対馬病院基本理念

地域の健康な生活を守る使命の達成のため
職員ひとりひとりが自覚と責任を持ち
心のふれあいのある
患者様の側に立った医療の実践を行なう

発行:上対馬病院地域連携室・広報部 ホームページ <http://www.kamibyō.jp>

4月からの診療体制について

寒さもようやく和らぎ、春の訪れを感じるこの頃です。

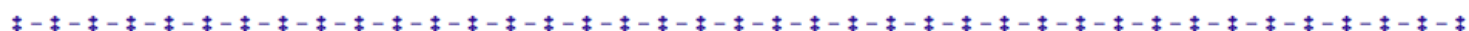
上対馬病院をご利用いただいている皆様方には、たいへん申し訳ない報告をさせていただかなければならない事態を心苦しく思います。

平成23年度は内科、外科、産婦人科、整形外科、小児科の6人の常勤体制でしたが、平成24年4月より、内科、整形外科、小児科の5人の常勤体制となります。それにともない、外科外来は毎週金曜日、産婦人科外来は毎週水曜日の診療となります。妊婦健診は可能ですが、上対馬病院での出産ができない事態になりました。たいへん申し訳ありません。

以前より医師の確保が非常に困難になっていることを申し上げてまいりましたが、長崎県病院企業団でも医師不足は深刻で今回の事態になりました。

上対馬地域にお住まいの方々にはたいへんご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

上対馬病院 院長 立花 一憲



退任挨拶



産婦人科
原 浩一

2006年4月から赴任し、まる6年になりました。その間、日本では、民主党に政権が変わり何か変化があるかと期待していたら、東日本大震災発生、そのうえ福島原発で前代未聞の大事故がおきてしまいました。そして、何とか続けてきた上対馬病院の分娩取り扱いもついに中止となってしまいました。分娩数減少に伴う赤字と、外科医の常勤医がいない状態で分娩を取り扱うのは安全ではないと判断されたわけです。小生は何とか分娩を続けたかったのですが、やむを得ません。4月からは対馬いづはら病院に勤務し、上対馬病院には毎週診療応援に参りますので今後ともよろしくお願い致します。



外科
原 征史朗

2年間と短い期間ではありましたが、上対馬地域の医療に携われたことをまずは感謝したく、同時に小生のような半人前を信頼していただき、育てていただいたことに深くお礼申し上げます。高齢者医療の最前線とはいえ、多種多様な疾患や患者さんを診させていただくことができたのは自分にとって一生の糧となりました。そして、この経験を活かし本土の病院で実力を身につけてまた対馬に戻ってきます。

また、小生の異動に伴い上対馬病院外科は非常勤体制にはなりますが、対馬いづはら病院からの診療応援が可能となりましたので、癌や術後の患者さんのフォローアップについてはこれまで通り対応していく予定です。

末筆ながら皆様のご健勝を祈念しております。ありがとうございました。

なんじゃ

医師不足、看護師不足・・・。年々従事者確保が難しくなり十年後、二十年後、島の医療はどうなっていくのか。どんなに規模が縮小しても質を高めていけるそんな病院でありたいです。

地域版編集長 早田 裕美